



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 センコー株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9069 URL <http://www.senko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 広報担当 (氏名) 佐々木 信郎

TEL 06-6440-5155

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	126,837	7.0	3,801	37.7	3,655	29.6	1,645	24.5
23年3月期第2四半期	118,551	9.8	2,759	0.1	2,820	4.5	1,322	2.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,610百万円 (36.7%) 23年3月期第2四半期 1,177百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	13.08	11.87
23年3月期第2四半期	11.13	10.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	196,258	61,778	30.6	477.39
23年3月期	177,284	60,604	33.3	469.14

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 60,061百万円 23年3月期 59,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		5.00		5.00	10.00
24年3月期		6.00			
24年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成23年5月16日公表の決算短信に記載した配当予想を修正しております。詳細は、[添付資料]4ページ「<ご参考>利益配分に関する基本方針及び当期の配当について」をご覧ください。

なお、平成24年3月期の第2四半期末の1株当たり配当金および平成24年3月期の期末の1株当たり配当金(予想)には、それぞれ創立65周年記念配当金を1円ずつ含んでおります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	270,000	12.0	8,150	33.6	8,000	25.5	3,750	65.8	29.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年7月28日公表の決算短信に記載した業績予想を修正しております。詳細は、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	128,989,476 株	23年3月期	128,989,476 株
24年3月期2Q	3,177,665 株	23年3月期	3,174,635 株
24年3月期2Q	125,813,853 株	23年3月期2Q	118,777,329 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日~平成23年9月30日以下「当第2四半期」)における日本経済は、東日本大震災発生直後に個人消費や生産活動などが大幅に低下いたしました。その後のサプライチェーンの回復、生産設備の復旧に伴い、景気は着実に回復しつつあります。しかしながら、円高の影響、電力不足問題、欧州の金融不安・米国の景気減速による世界景気の先行き不安などによる下振れ懸念もあります。

物流業界におきましては、震災直後には物量が落ち込んだものの、復旧に伴って物量は回復してきております。しかし、復興需要の発生時期が見通せないことや、円高による生産活動の低下などにより、物量減少も見込まれる厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、お客さまの震災復旧・復興対応のご支援を経営の最重点課題と位置付けるとともに、昨年度にスタートさせた「Moving Global」をコーポレートスローガンとする、中期経営三ヵ年計画の2年目の年として、国内外で積極的な経営を進めてまいりました。

7月に米国ケンタッキー州に「ケンタッキー物流センター」を開設し、同国の大手小売会社の資材の保管・配送のほか、日系企業の物流業務を開始しました。8月には大手GMS(総合スーパー)の物流業務を行う当社最大の物流センター、「野田第1PDセンター」を千葉県野田市に開設しました。また、9月に商事・貿易事業の強化の一環として包装資材・食品・酒類・生活雑貨の流通商社である「株式会社スマイル」を子会社として当社グループに迎えました。

当第2四半期の業績としましては、震災の復旧需要をはじめ、災害関連商品や節電関連商品などの既存物量が増加したことや、新規顧客の積極的な開拓を行ったことにより、連結営業収益は1,268億37百万円と対前年同期比7.0%の増収となりました。一方、利益面におきましては、燃料費の上昇などのマイナス要素があったものの、増収効果とコスト改善効果により、連結営業利益は38億1百万円と対前年同期比37.7%の増益、連結経常利益は36億55百万円と対前年同期比29.6%の増益、連結四半期純利益は16億45百万円と対前年同期比24.5%の増益となりました。

当第2四半期の業績をセグメント別にご説明いたしますと、次の通りです。

(物流事業)

住宅物流事業においては仮設住宅などの震災復旧需要、流通ロジスティクス事業においては、復旧に関わる住関連商品や節電関連商品や暑さ軽減商品などの既存物量の増加、さらには新規顧客の積極的な開拓による売上拡大などがあり、事業収入は1,104億70百万円と対前年同期比6.3%の増収となりました。

(商事・貿易事業)

石油価格の上昇による石油販売事業の伸長と、株式会社丸藤の売上拡大、貿易事業の拡大により、事業収入は149億8百万円と対前年同期比13.4%の増収となりました。

(その他事業)

情報処理事業の売上減少により、事業収入は14億58百万円と対前年同期比2.2%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期末における総資産は1,962億58百万円となり、前期末に比べ189億73百万円の増加となりました。これは受取手形及び営業未収入金が57億84百万円、たな卸資産が26億89百万円、有形固定資産が52億47百万円、無形固定資産が29億22百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期末における負債の残高は1,344億80百万円となり、前期末に比べ178億円の増加となりました。これは支払手形及び営業未払金が69億21百万円、短期借入金が67億43百万円、長期借入金が48億31百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は617億78百万円となり、前期末に比べ11億73百万円の増加となりました。これは利益剰余金が10億16百万円増加したこと等によるものです。自己資本比率は前期末より2.7%低下し、30.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、21億3百万円増加し、164億97百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは42億66百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益が30億77百万円、減価償却費が28億63百万円、仕入債務の増加が22億68百万円となったものの、災害損失引当金の減少が6億40百万円、売上債権の増加が8億88百万円、利息の支払額が5億96百万円、法人税等の支払額が16億25百万円となったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは112億29百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が81億12百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が39億63百万円となったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、90億59百万円の収入となりました。これは短期借入金の増加が70億25百万円、長期借入れによる収入が73億円となったものの、長期借入金の返済による支出が36億34百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が8億88百万円、配当金の支払額が6億29百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は緩やかな景気回復が続くと見られますが、円高や電力不足の問題、欧州の金融不安・米国の景気減速による世界景気に対する不安など依然として予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期経営三ヵ年計画の2年目の年として、グループの総力を結集し、社会との共生を図り、従業員の成長志向を育む中、高品質でコストパフォーマンスの高いサービスを、グローバルに提供する、流通情報企業を目指してまいります。

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、当第2四半期の業績が当初の予想を上回ったこと、9月に株式会社スマイルを連結子会社としたことにより、下記の通り見直しをいたしました。

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	255,000	7,400	7,300	3,450	27.42
今回修正予想(B)	270,000	8,150	8,000	3,750	29.81
増減額(B-A)	15,000	750	700	300	-
増減率(%)	5.9	10.1	9.6	8.7	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	241,046	6,099	6,375	2,261	18.44

<ご参考> 利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

当期に関しましては、「創立65周年記念」として、1株当たり年間2円(中間1円、期末1円)の記念配当を実施いたします。

以上より、普通配当・記念配当をあわせた年間配当予想は、1株当たり12円(中間6円、期末6円)となります。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成23年5月16日公表)	5円00銭	5円00銭	10円00銭
今回修正予想		6円00銭 (普通配当 5円00銭) (記念配当 1円00銭)	12円00銭 (普通配当10円00銭) (記念配当 2円00銭)
当期実績	6円00銭 (普通配当 5円00銭) (記念配当 1円00銭)		
前期実績 (平成23年3月期)	5円00銭	5円00銭	10円00銭

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,394	16,497
受取手形及び営業未収入金	31,147	36,932
商品及び製品	719	3,334
販売用不動産	15	10
仕掛品	104	194
原材料及び貯蔵品	176	166
その他	6,304	6,254
貸倒引当金	29	41
流動資産合計	52,833	63,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,962	40,875
土地	39,233	39,623
その他(純額)	10,508	11,451
有形固定資産合計	86,703	91,951
無形固定資産		
のれん	1,028	3,827
その他	3,358	3,482
無形固定資産合計	4,387	7,309
投資その他の資産		
差入保証金	8,719	8,720
繰延税金資産	4,969	4,570
その他	19,897	20,673
貸倒引当金	226	314
投資その他の資産合計	33,359	33,649
固定資産合計	124,450	132,910
資産合計	177,284	196,258

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,603	29,524
1年内償還予定の新株予約権付社債	-	4,900
短期借入金	16,545	23,289
未払法人税等	1,719	724
賞与引当金	2,853	3,483
役員賞与引当金	112	74
災害損失引当金	836	196
その他	9,251	10,097
流動負債合計	53,923	72,291
固定負債		
社債	7,000	7,000
転換社債型新株予約権付社債	4,900	-
長期借入金	32,331	37,162
退職給付引当金	9,724	9,499
役員退職慰労引当金	37	57
特別修繕引当金	39	42
資産除去債務	292	296
その他	8,431	8,131
固定負債合計	62,756	62,189
負債合計	116,679	134,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,782
利益剰余金	20,806	21,823
自己株式	1,046	1,047
株主資本合計	59,063	60,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	14
繰延ヘッジ損益	9	3
為替換算調整勘定	31	28
その他の包括利益累計額合計	38	17
新株予約権	107	149
少数株主持分	1,472	1,567
純資産合計	60,604	61,778
負債純資産合計	177,284	196,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	118,551	126,837
営業原価	108,690	115,782
営業総利益	9,860	11,055
販売費及び一般管理費	7,100	7,253
営業利益	2,759	3,801
営業外収益		
受取利息	89	92
受取配当金	430	430
その他	353	219
営業外収益合計	874	743
営業外費用		
支払利息	580	585
その他	232	302
営業外費用合計	813	888
経常利益	2,820	3,655
特別損失		
固定資産売却損	-	299
特別退職金	74	179
固定資産除却損	147	68
リース解約損	22	31
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	130	-
特別損失合計	375	578
税金等調整前四半期純利益	2,445	3,077
法人税、住民税及び事業税	1,073	518
法人税等調整額	124	981
法人税等合計	1,198	1,500
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247	1,577
少数株主損失()	74	68
四半期純利益	1,322	1,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,247	1,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	20
繰延ヘッジ損益	8	9
為替換算調整勘定	0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	69	33
四半期包括利益	1,177	1,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,252	1,667
少数株主に係る四半期包括利益	75	57

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,445	3,077
減価償却費	2,722	2,863
固定資産売却損益(は益)	-	299
固定資産除却損	147	68
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	130	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	67	431
賞与引当金の増減額(は減少)	408	569
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	640
受取利息及び受取配当金	520	523
支払利息	580	585
売上債権の増減額(は増加)	104	888
たな卸資産の増減額(は増加)	545	77
仕入債務の増減額(は減少)	509	2,268
その他	1,711	814
小計	3,249	6,356
利息及び配当金の受取額	119	131
利息の支払額	589	596
法人税等の支払額	1,699	1,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,079	4,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,179	8,112
有形固定資産の売却による収入	64	767
投資有価証券の取得による支出	9	120
投資有価証券の売却による収入	4	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	3,963
関係会社株式の取得による支出	198	11
関係会社出資金の払込による支出	104	-
長期貸付けによる支出	1,407	-
その他	180	206
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,649	11,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	450	7,025
長期借入れによる収入	2,950	7,300
長期借入金の返済による支出	4,056	3,634
ファイナンス・リース債務の返済による支出	626	888
株式の発行による収入	4,350	-
自己株式の取得による支出	1	0
自己株式の売却による収入	1	-
配当金の支払額	438	629
その他	113	113
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,616	9,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	6
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,973	2,103
現金及び現金同等物の期首残高	14,504	14,394
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	495	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,027	16,497

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	103,915	13,144	1,491	118,551	-	118,551
セグメント間の内部営業収益又は振替高	359	4,338	2,002	6,700	6,700	-
計	104,275	17,482	3,494	125,251	6,700	118,551
セグメント利益	2,278	227	314	2,821	61	2,759

(注)1. セグメント利益の調整額 61百万円には、セグメント間取引消去 6,700百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 6,639百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	110,470	14,908	1,458	126,837	-	126,837
セグメント間の内部営業収益又は振替高	330	5,147	1,631	7,109	7,109	-
計	110,800	20,055	3,090	133,946	7,109	126,837
セグメント利益	3,197	313	353	3,864	63	3,801

(注)1. セグメント利益の調整額 63百万円には、セグメント間取引消去 7,109百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 7,045百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「商事・貿易事業」セグメントにおいて、新たに株式を取得した株式会社スマイル及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,839百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。